

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月16日

上場会社名 株式会社 リミックスポイント
 コード番号 3825 URL <http://www.remixpoint.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 登
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 三田 徹
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月16日

上場取引所 東

TEL 03-5216-1811

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	1,093	—	△250	—	△259	—	△366	—
20年3月期第3四半期	545	—	△248	—	△261	—	△278	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△44,433.61	—
20年3月期第3四半期	△34,010.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	1,408	△7	△0.5	△1,147.62
20年3月期	2,358	363	15.1	43,339.27

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 △9百万円 20年3月期 357百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500	—	△246	—	△259	—	△367	—	△44,572.46

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 8,370株 20年3月期 8,370株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 120株 20年3月期 120株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 8,250株 20年3月期第3四半期 8,250株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発したグローバル金融市場の混乱による株価の急落、為替の急激な変動等の影響が、実態経済にも影響し、設備投資の縮小、雇用環境の悪化につながるなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。

情報サービス産業界におきましても、株価下落や景気低迷により、厳しさを増しております。

このような状況のもと、当第3四半期連結会計期間において当社グループは、引き続き既存顧客との関係を深堀するとともに、不採算事業の売却を進めるなど収益確保策の実行に努めてまいりました。

売上面におきましては、金融不安のあおりを受け、新規IT投資の圧縮により一部受託開発プロジェクトの凍結や新規受注の落ち込みに加え、プロダクト販売の不振により、連結売上高1,093百万円となりました。

また利益面におきましては、前四半期より継続した大型受託開発における外注費増、および不採算事業の売却、雇用調整を含む抜本的な収益確保策の実施により、製造コストや一般管理費のコストがかさみ、営業損失250百万円、経常損失259百万円、四半期純損失366百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ103百万円減少し、69百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は21百万円となりました。これは主に第3四半期連結会計期間における税引等調整前四半期純損失181百万円、のれんの償却額44百万円、有価証券評価損53百万円、売上債権の減少13百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は85百万円となりました。これは主に定期預金の預金による支出100百万円、無形固定資産の取得4百万円、敷金の回収による収入5百万円、事業譲渡による収入7百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は3百万円となりました。これは主に短期借入金による収入12百万円、借入金の返済による支出8百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期の連結累計期間の業績を勘案し、平成20年11月14日に開示いたしました当期業績予想を修正いたしました。

通期業績の詳細については、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(たな卸資産の評価方法)

当第3四半期連結会計期間末のたな卸資産の算定に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実施棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法を主としております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	169,678	443,857
売掛金	43,207	323,729
商品	58	15,777
製品	29,163	15,083
仕掛品	25,359	25,378
前払費用	42,621	75,707
繰延税金資産	—	33,273
その他	29,471	135,364
貸倒引当金	—	△74,500
流動資産合計	339,560	993,673
固定資産		
有形固定資産	12,224	21,100
無形固定資産		
のれん	695,101	827,272
ソフトウェア	182,832	244,024
その他	2,008	2,772
無形固定資産合計	879,943	1,074,069
投資その他の資産		
長期前払費用	78,992	97,742
固定化営業債権	74,500	—
その他	97,842	171,693
貸倒引当金	△74,500	—
投資その他の資産合計	176,835	269,435
固定資産合計	1,069,003	1,364,606
資産合計	1,408,563	2,358,279

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,944	99,182
短期借入金	312,510	403,627
1年内償還予定の社債	129,600	139,600
1年内返済予定の長期借入金	35,888	28,956
前受金	247,118	430,505
未払法人税等	2,222	—
その他	151,336	162,161
流動負債合計	904,621	1,264,032
固定負債		
社債	405,600	470,400
長期借入金	56,818	64,896
長期前受金	48,750	195,000
繰延税金負債	—	329
固定負債合計	511,168	730,625
負債合計	1,415,790	1,994,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	429,575	429,575
資本剰余金	349,575	349,575
利益剰余金	△770,608	△404,081
自己株式	△18,000	△18,000
株主資本合計	△9,458	357,068
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8	480
評価・換算差額等合計	△8	480
少数株主持分	2,240	6,071
純資産合計	△7,227	363,620
負債純資産合計	1,408,563	2,358,279

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	1,093,948
売上原価	579,226
売上総利益	514,721
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	188,149
その他	577,340
販売費及び一般管理費	765,490
営業利益	△250,768
営業外収益	
受取利息	425
還付消費税等	808
法人税等還付加算金	1,440
保険解約返戻金	3,485
その他	411
営業外収益合計	6,571
営業外費用	
支払利息	14,601
その他	607
営業外費用合計	15,209
経常利益	△259,406
特別利益	
過年度損益修正益	51
特別利益合計	51
特別損失	
リース解約損	519
固定資産除却損	2,787
事務所移転費用	1,341
特別退職金	8,503
事業譲渡損	5,899
投資有価証券評価損	53,999
特別損失合計	73,051
税金等調整前四半期純利益	△332,405
法人税、住民税及び事業税	1,692
法人税等調整額	33,273
法人税等合計	34,966
少数株主利益	△795
四半期純利益	△366,577

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	△332,405
減価償却費	83,342
のれん償却額	132,135
受取利息及び受取配当金	△425
支払利息	14,601
特別退職金	8,503
事業譲渡損益(△は益)	5,899
投資有価証券評価損益(△は益)	53,999
売上債権の増減額(△は増加)	206,022
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,818
仕入債務の増減額(△は減少)	△73,238
その他	△232,509
小計	△144,892
利息及び配当金の受取額	427
利息の支払額	△11,823
特別退職金の支払額	△5,718
法人税等の還付額	48,741
法人税等の支払額	△1,207
営業活動によるキャッシュ・フロー	△114,472
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△100,000
無形固定資産の取得による支出	△15,390
敷金の回収による収入	11,991
子会社株式の取得による支出	△3,000
事業譲渡による収入	7,350
その他	6,404
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,644
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	12,000
短期借入金の返済による支出	△84,957
長期借入金の返済による支出	△19,304
社債の償還による支出	△74,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	△167,061
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△374,179
現金及び現金同等物の期首残高	443,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	69,678

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

当社グループは、前連結会計年度において営業損失425,225千円、当期純損失552,266千円を計上し、当第3四半期連結累計期間においても営業損失250,768千円、四半期純損失366,577千円を計上し、この結果7,227千円の債務超過となりました。前連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは543,872千円のマイナスであり、当第3四半期連結累計期間においても114,472千円のマイナスとなっております。

また、1年内返済予定の金融機関借入金及び1年内返済予定社債の合計が459,969千円あります。

当該状況により、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な疑義が生じております。

当該状況を解消すべく、当面の資金繰りとしては、すでに特定の事業会社等と金銭消費貸借契約を締結し平成21年2月16日に80百万円の入金が実行されました。これにより当面の資金繰りの懸念は払しょくされております。これに加え、上記金融機関への返済金の確保を図るとともに、子会社の売却による資金の確保や第三者割当増資等を含めた資本政策を実施すべく、継続して特定の事業会社等と交渉し経営支援についての協力を得ていく所存であります。

また、事業面におきましては、グループ全体の再編をおこない「各社の経営資源を集約できる組織体系の整備」「効率的な開発体制の構築」「販売およびサービス体制の強化」を基本方針とし、更なる営業面、開発面での効率化を行ってまいります。第2四半期以降、子会社不採算事業の売却や雇用調整を含む抜本的な収益確保策の実施を進めており、さらに事業所の縮小・移転等をすでに決定しており、今後これまで以上に必要最小限のコストでの事業運営に向けた連結経営体制の整備を進めて参ります。

以上により、営業利益体質への改善と、資金の確保並びに債務超過の解消が十分可能と判断しております。

四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額に占めるソフトウェア開発関連事業(デジタル画像や映像に関するアプリケーション・ソフトウェアの開発及び周辺サービス事業)の割合が90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約) 前四半期連結損益計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
I 売上高	545,258
II 売上原価	318,996
売上総利益	226,262
III 販売費及び一般管理費	474,953
営業利益	△ 248,691
IV 営業外収益	813
V 営業外費用	13,931
経常利益	△ 261,810
VI 特別利益	3,469
VII 特別損失	7,894
税金等調整前四半期純損失	△ 266,234
法人税、住民税及び事業税	8,402
法人税等調整額	4,147
四半期純損失	△ 278,783

(要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 266,234
減価償却費	17,333
のれん償却額	7,234
受取利息及び受取配当金	△ 550
支払利息	3,403
売上債権の増減額(△は増加)	192,237
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 37,943
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 34,827
長期前払費用の増減額(△は減少)	△ 69,196
その他	△ 161,909
小計	△ 350,453
利息及び配当金の受取額	550
利息の支払額	△ 1,107
法人税等の支払額	△ 78,356
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 429,366
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 1,065
無形固定資産の取得による支出	△ 28,963
投資有価証券の取得による支出	△ 141,458
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△ 13,884
株式取得前払いによる支出	△ 60,000
敷金の払込による支出	△ 2,658
敷金の返金による収入	4,082
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 243,946
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	1,250
社債の発行による収入	389,752
社債の償還による支出	△ 10,000
短期借入金の増加による収入	13,000
長期借入金の返済による支出	△ 2,913
配当金の支払額	△ 22,073
財務活動によるキャッシュ・フロー	369,016
IV 現金及び現金同等物の増加額	△ 304,296
V 現金及び現金同等物の期首残高	526,760
VI 現金及び現金物同等物の四半期末残高	222,464